

多摩市高齢者在宅療養支援窓口

ニュース

令和5年 12月vol. 10

多摩市高齢者在宅療養支援窓口は町の身近な在宅療養の相談窓口として、多摩市医師会館にあります。

医療・介護・福祉関係者からの在宅療養・介護療養に関する相談や、入退院に際しての医療・介護関係者からの相談(電話・面談等)患者・家族からの在宅療養に関する相談を受けています。

**在宅療養では、病院と同じように、自室のベッドが“病院のベッド”
電話は“ナースコール”です。住み慣れた地域の訪問医療・
訪問看護・訪問介護等がお家に伺い機能を果たします。**



在宅で最期を過ごす方が増えてます。

医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリ職員、訪問介護職員、介護支援専門員、管理栄養士等がご自宅に伺い、ご自身の意向に沿いながら多職種がチームとなり、24時間支えることで、ご自宅でのお看取りも可能です。11/30は、いい看取り「人生会議の日」です。ご自身の望む医療やケア(やりたいことや大切にしていること受けたい医療等)について、もしもの時のために前もって考え、家族等の信頼できる人や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有することをお勧めします◎裏面に相談事例を載せておりますのでご覧ください。

◆医師会と訪問看護ステーション連絡会開催◆

第2回 医師会と訪問看護ステーション連絡会を11/20市役所で開催しました。「顔の見える関係づくり」の会となり、34名の参加者で、グループトークとフリートークで、活気あふれる会となりました。情報共有ツール、多摩ICT(MCS)について見直す機会になりました。

連携は顔の見える関係が大切です。

今後も地域の皆様が安心して自分らしい生活が続けられるように、窓口も微力ですがお手伝いできればと思います。

今後も継続的に開催していく予定です。



費用は無料です、
守秘義務を厳守します。



多摩市高齢者在宅療養支援窓口

電話:042-357-1677

場所:多摩市永山5-15多摩市医師会館内

受付時間:月~金(祝祭日及び

12月29日~1月3日除く)10時から16時

担当:淵野・石岡

多摩市高齢者在宅療養支援窓口

ニュース

令和5年 12月

相談事例1 A氏 80代

(市民息子様から)遠方まで通院しているが、最近歩行が難しくなってきた。認知症もあり、内科と認知症両方を訪問で診療してくれるところを紹介してほしい。

→内科と認知症両方診れる訪問診療機関をご案内、また、在宅で可能な医療と介護サービスについても説明する。担当の地域包括支援センターをお教えした。



相談事例2 B氏70代

(病院連携室から)現在入院中で今後は在宅で腹膜透析を実施する。在宅で腹膜透析対応可能な訪問看護ステーションを教えて欲しい。

→腹膜透析対応可能で、24時間対応可能な訪問看護ステーションを紹介。現在も在宅で生活を継続している。



相談事例3 C氏90代

(地域包括支援センターから)転倒し、救急で搬送された病院に、2日間入院した。歩行状態が悪化しているが救急病院では入院の必要性が無いといわれているが、一人暮らしの為、どこか入院できる所が無いかと相談。

→治療の必要性が無ければ救急病院での入院は難しいが、地域包括ケア病棟での入院相談は可能かもしれないことを助言。

→地域包括ケア病棟に入院しリハビリを受け、歩行可能になり退院。

相談事例4 D氏70代

(介護支援専門員から)難病で夜間のみ人工呼吸器を利用している。ショートステイ可能な医療機関を教えて欲しい

→ショートステイ可能な医療機関をご案内する。現在も、ショートステイを利用しながら在宅生活を継続している。

多摩市では、多職種が連携しながら在宅療養生活を支援します。様々な相談がありますが、お気軽にご相談ください。必要な機関につなげ、住み慣れた地域で、自分らしく、安心した生活が送れるように支援したいと思います。



電話042-357-1677 (月～金)10時～12時・13時～16時